

文京区教育ビジョン推進プラン

「文京区教育ビジョン - 個が輝き、共に生きる文京の教育」の実現をめざして

文京区教育ビジョン推進プラン委員会報告書

平成12年(2000年)3月

目 次

はじめに

第 1 章 教育ビジョンの理念と推進プラン策定の背景

- 1 教育ビジョンの理念
- 2 社会的な背景
- 3 文京区の特性の継承・発展

第 2 章 推進プラン策定の基本的な考え方

- 1 推進プラン策定の進め方
- 2 推進プランの位置付け
- 3 推進プランの体系

第 3 章 推進プランにおける基本目標達成のための重点目標

【重点目標 1】

青少年の「生きる力」を育み、生涯学習に寄与する学校づくり

【重点目標 2】

青少年の健全な成長に欠くことのできない家庭の教育力の向上

【重点目標 3】

青少年の健全な成長を促し、自己実現を図る地域の教育力の向上

おわりに

はじめに

平成8年2月に「文京区教育ビジョン」（以下「教育ビジョン」という）を策定して以来、文京区教育委員会は、教育ビジョンで示された「個が輝き、共に生きる文京の教育」という理念の具現化に努めてきた。

特に、教育ビジョンの学校での具現化を実践する「文京区教育ビジョン推進校」事業を実施するとともに、各学校・幼稚園においても教育ビジョンの理念を踏まえて、特色ある教育課程の編成・実施に努めている。また、教育ビジョン具現化のための視点や各学校・幼稚園の特色ある取り組みを紹介する啓発誌『かがやく心』を毎年発行し、学校関係者等に配布している。

さらに、平成10年3月には、生涯学習振興のための基盤整備と協調して、個が輝き、共に生きる文京の教育の実現を図ることを「文京区教育委員会の教育目標」として掲げた。

一方、少子高齢化、国際化、情報化等の急激な進展、さらに都市化、核家族化の進行等、社会状況は急速に変化し、教育環境も大きく影響を受けている。国においても教育改革に着手し、中央教育審議会は「21世紀を展望した我が国の教育の在り方」について答申を行い、ゆとりの中で子どもたちに「生きる力」を育成するという、我が国の今後の教育の進むべき方向を示した。

そこで、文京区教育ビジョン推進プラン委員会は、子どもたちを取り巻く学校・家庭・地域のすべてが教育力を発揮し、教育ビジョンの示す理念を押し進めていくために、「学習内容部会」と「学習環境部会」の両専門部会を設置し、学校教育・生涯学習の両面から文京区の教育の在り方を構想した。ここにそのまとめとして「文京区教育ビジョン推進プラン」（以下「推進プラン」という）を報告するものである。

第1章 教育ビジョンの理念と推進プラン策定の背景

1 教育ビジョンの理念

教育ビジョンの理念は、「個が輝く」「共に生きる」という2つのキーワードで語られる。

「個が輝く」とは

人は、他の人とのかかわりの中で、興味・関心をもったことや好きなことに続けて取り組む活動を通して自分の得意な対象がはっきりしてくる。そして、自分のよさや可能性に気づき、それを十分に発揮して活動することにより、個性は - 層磨かれる。

さらに、興味・関心のある対象から進んで、自分の目的や課題を発見し、生き生きと取り組むことが、その人らしさとしての輝きを増すことにつながる。そして、夢中になって物事に取り組み、困難を乗り越え、成就感・達成感を味わうことを積み重ねることにより、自分のより高い夢や希望の実現に向けて努力していこうとする意欲が高められていく。この一連の姿こそが「個が輝く」ことである。

「共に生きる」とは

社会は人と人とのかかわりによって成り立っている。人は、年代・世代、言語・人種・風俗・習慣・文化や特性等を越えて、互いに理解し、認め合って共に生きていかなければならない。国際化、情報化、少子高齢化が急速に進展する現代においては、そうした共に生きる社会を実現することが重要になってきている。さらに、地球規模のスケールで他の生物や地球そのものと共に生きることを考えていく必要性も高まっている。これからの社会では、自分とは違うものに対する理解とそのための行動が求められており、これが「共に生きる」ことである。

こうした考えに立ち、「個が輝き、共に生きる」教育を推し進めることは、区民一人一人がかけがえのない存在として輝き、他の輝きと共鳴し、共存し、共栄する姿を実現することであり、これからの社会を支える人づくりの根幹を示すものである。

2 社会的な背景

社会の急速な変化に主体的に対応するとともに、健康で生きがいを持ち、心豊かに人生を送るためには、生涯にわたって学び続けることのできる生涯学習社会の確立が求められている。

子どもたちが、心身ともに健康で、知性と感性に富み、地域社会や国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな区民として成長し、学校を卒業して後の数十年をよりよく生きるためには、青少年時代を生涯学習の基礎づくりの重要な時期としてとらえる必要がある。こうした時期に、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる能力や、思考力、判断力、表現力など自己実現のために役立つ力を身に付けることが一層強く求められている。

国においても、中央教育審議会答申は、「ゆとり」の中で「生きる力」を育む教育の重視、個性尊重の教育の重視、幼児期からの心の教育の重視を示した。また、生涯学習審議会答申は、教育関係者だけではなく、大人一人一人が、それぞれの立場で子どもの問題に関心を持ち、活発な議論をしながら取組みを進めていくことの重視、子どもたちの心の成長のために、地域での豊かな体験の重視等を示した。

これらは、教育ビジョンの具現化においても欠かせない視点である。子どもの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域が連携して、心豊かな人間づくりの観点から、子どもの教育に積極的に取り組むことは、今後、ますます重視される必要がある。

さらに、平成14年度からの学校週5日制の完全実施を踏まえ、学校・家庭・地域がそれぞれ担う役割はますます重要になる。最近の青少年の問題行動に見られるように、人間としての基本的な倫理観や規範意識の低下、他者への思いやりの欠如等が憂慮されている中、子どもたちの豊かな人間性を育むために、これまで以上に学校・家庭・地域の三者が緊密に連携し、各学校が主体性・独自性を発揮し、地域に開かれた学校づくりを推し進めるとともに、家庭や地域の教育力の向上・発揮が一層求められている。

3 文京区の特性の継承・発展

文京区は、その名の由来からも、自他共に認める「文教の府」であり、「文化の香り高い教育のまち」である。行政や学校、地域は、手を携えて教育環境の整備に努め、学校教育・生涯学習の充実・発展に力を注いでいる。

こうした文京区の特性を継承・発展させることは、次代を担う子どもたちを育むためにも重要な意味をもつものである。

(1) 「文教の府」文京の伝統

本区の特性の一つとして、「文教の府」としての伝統と誇りが挙げられる。区民の地域に対する意識は高く、地域活動や学校教育への協力は、文京区の発展・充実に大きく寄与している。

また、各学校においては校内研究の活性化が図られ、優れた実践的研究を組織的に推進し、教員の資質向上に努めている。さらに、「文京区民大学講座」等の生涯学習関係講座の受講状況等を見ても、区民が生涯にわたって生きがいのある生活を営む上で、“学び続けること”を重要な条件の一つとして考えていることが明らかである。

(2) 「心の教育」の伝統

本区では、昭和39年度より「情操教育」と「健康教育」を、昭和51年度からは「心の教育」を重点目標として掲げ、その実践に努めてきた。文部省が道徳教育で「心の教育」を唱える以前のことである。

以来、本区の「心の教育」は、各学校の教育課程に位置付けられ、実践が進められてきた。その伝統と精神は教育ビジョンに受け継がれ、現在に至っている。

(3) 息づく歴史・伝統・文化

本区は、江戸時代以降、政治・経済・文化等多方面にわたって歴史に名を残す人々が居を構え、あるいは活動の場として活躍し、様々な足跡を残している。さらに、都心にあって、比較的恵まれた緑の環境を有している。こうしたことから、歴史探訪・文学散歩等の格好のコースともなっており、優れた社会科の地域教材として社会科副読本でも取り上げられている。また、伝統産業・芸能等も数多く保存され、文化の香り高いまちを形づくっており、貴重な教材として活用されるとともに、子どもたちもその触承・保存に貢献している。

第2章 推進プラン策定の基本的な考え方

1 推進プラン策定の進め方

本委員会では、「豊かな人間性を育む教育の推進」と「生涯学習の基礎づくりの推進」という2つの諮問事項を、教育ビジョンの理念を具現化するための基本目標として認識し、実現を図るための方策の具体的な検討にあたって、課題を次のようにとらえた。

教育ビジョンの理念を広く家庭・地域に反映させるとともに、学校・家庭・地域の役割と連携の在り方及び行政のサポートの在り方を明らかにする必要がある。

教育ビジョンの理念を生涯学習の基礎づくりに生かしていくためには、学校・家庭・地域における「学習内容の改善」及び「学習環境の整備」の両面から検討する必要がある。

そこで、本委員会では、2つの専門部会（「学習内容部会」「学習環境部会」）を設置し、次のような事項を挙げてそれぞれ検討することとした。

学習内容部会

- ア 青少年の健全な成長を促し、生涯学習の基礎づくりを果たす学校教育の内容について
- イ 青少年の健やかな成長に欠くことのできない家庭教育の内容について
- ウ 青少年の健全な成長を促し、自己実現を図る場を提供する地域社会の果たす役割について

学習環境部会

- ア 生涯学習の基礎づくりを進める学校の条件整備について
- イ 家庭の教育力を向上させるための条件整備について
- ウ 地域社会の教育力を向上・活性化させるための条件整備について

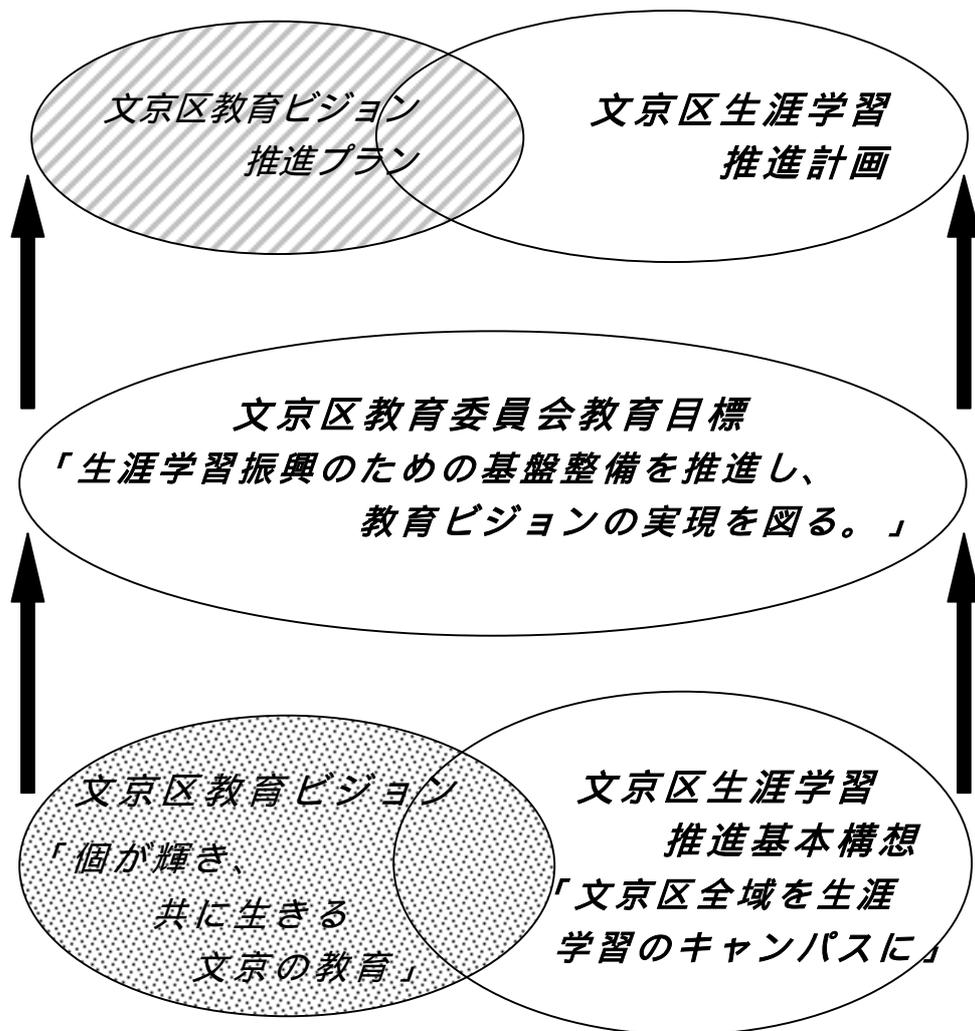
2 推進プランの位置付け

図1で示すように、教育ビジョンと生涯学習推進基本構想を踏まえて、文京区教育委員会の教育目標が掲げられている。

この教育目標を実現するために、生涯学習推進計画と推進プランが策定された。生涯学習推進計画は、「文京区全域を生涯学習のキャンパスに」という基本構想の考え方に基づいて、行政の役割を具体化するための事業計画である。

他方、推進プランは、生涯学習推進計画と協調しながら、「個が輝き、共に生きる文京の教育」という教育ビジョンの理念を実践しやすいよう、具体例を示して詳細化したものである。

【図1】

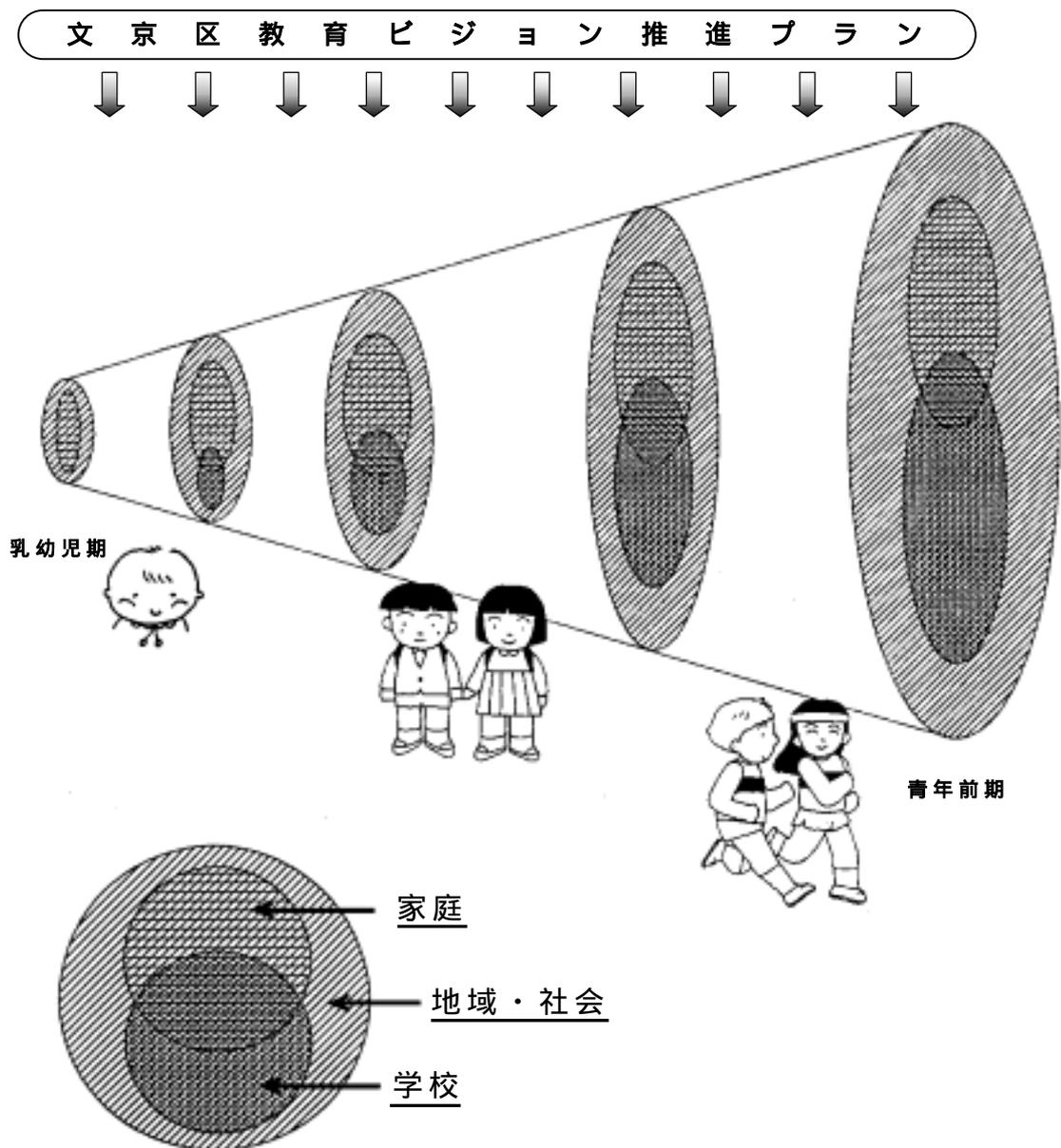


人間の心の成長過程で、生活空間としての学校、家庭、地域・社会がどのようにかかわっているのか、その考え方を示したものが、図2である。

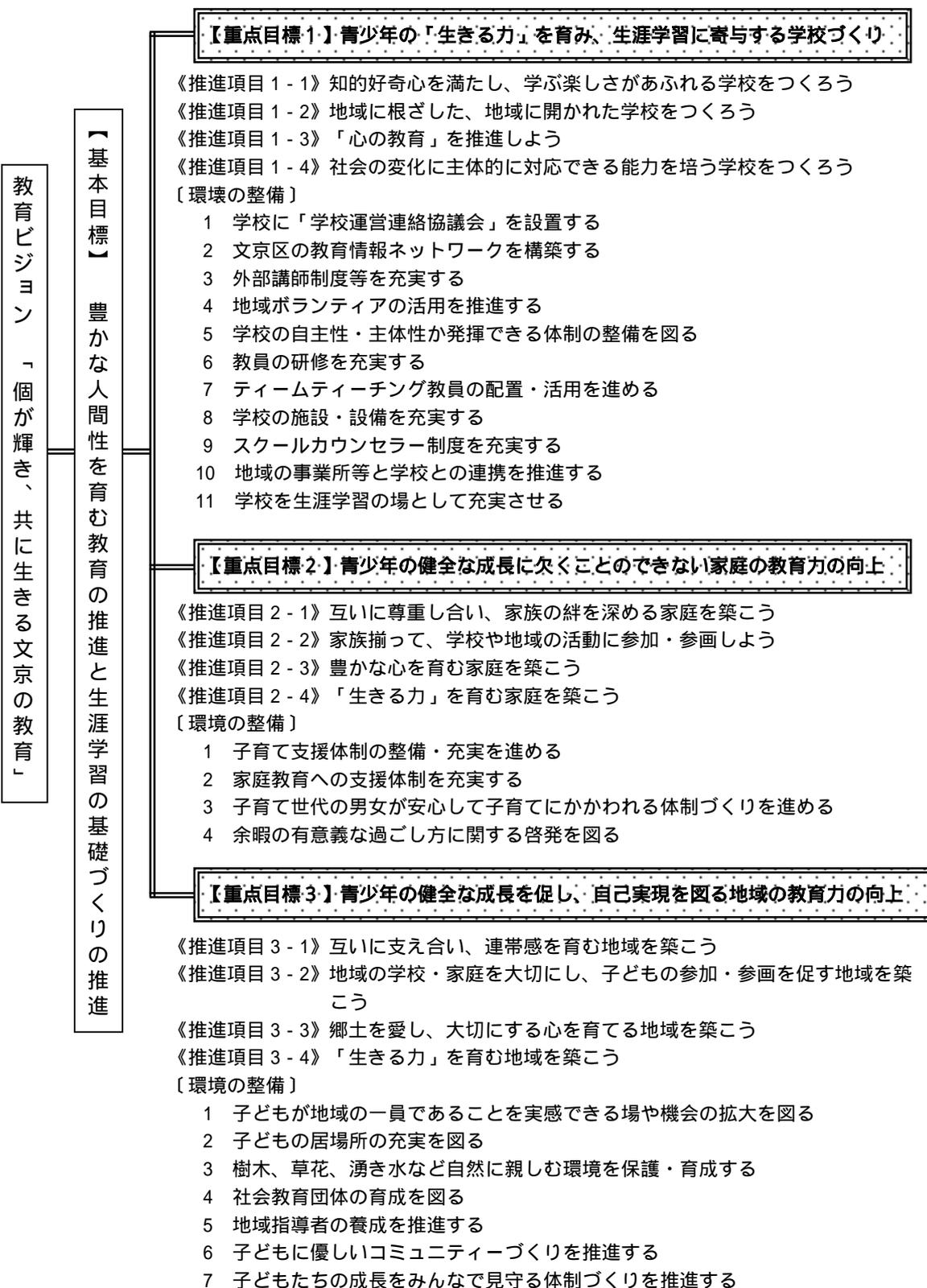
人間の心の成長において、乳幼児期は家庭が絶対的に大きな影響力をもっている。そして、年齢とともに、それぞれの生活する学校や地域・社会が相対的に大きな影響を及ぼすようになってくる。

推進プランは、この乳幼児期から青年前期（18歳程度）までの心のありようを認識し、学校、家庭、地域・社会がそれぞれの発達段階に合わせ、推進プランに示した実践を行っていくことを求めているものである。

【図2】



3 推進プランの体系



第3章 推進プランにおける基本目標達成のための重点目標

【重点目標1】

青少年の「生きる力」を育み、生涯学習に寄与する学校づくり

教育ビジョンがこれからの学校教育に求めているものは、具体的には、以下のとおりである。

- ・「個性」を尊重する学校づくり
- ・「共に生きる」意識や行動を育む学校づくり
- ・子どもが自己実現の喜びを味わえる教育課程の編成と実施
- ・相手を知り、理解し、共に力を合わせる体験を豊かにする教育課程の編成と実施
- ・教師の指導観の転換と指導力の向上
- ・教師自身が「共に活かし合って生きる」教育観をもつ

また、中央教育審議会答申等でも指摘されているように、急激に変化する社会に主体的に対応できる、豊かな心をもち、たくましく生きる人間に求められるものは「生きる力」である。

「生きる力」とは、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力である。

これらは、他人と協調しつつ自律的に社会生活を送っていくために必要となる、人間としての実践的な力であり、単に過去の知識を記憶しているということではない。また、理性的な判断力や合理的な精神だけでなく、美しいものや自然に感動する心などしなやかな感性、さらに、よい行いに感銘し、間違った行いを憎むといった正義感や公正さを重んじる心、生命を大切にし人権を尊重する心などの基本的な倫理観や、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考えたり共感したりすることのできる温かい心、ボランティアなど社会貢献の精神も重要な「生きる力」である。

学校教育において、このような「生きる力」を育み、生涯にわたって学び続け、自己実現を図る意欲・態度を育てるためには、次のような学校づくりを目指すとともに、それを支える環境の整備を図る必要がある。

《推進項目 1 - 1》

知的好奇心を満たし、学ぶ楽しさがあふれる学校をつくろう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の4点である。

1. 自己教育力（学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力等）を身に付ける指導を工夫しよう

《具体的実践例》

- * 子どもが自ら課題をもち、自分の力で解決を図るために主体的に学ぶ問題解決的な学習や課題探究的な学習等を工夫・充実する
- * 学校の図書館や情報機器、公共施設等を活用して、学び方を身に付ける学習活動を工夫する
- * 文京区の歴史・文化・伝統を学び、その成果をインターネット等で発信する学習を工夫する
- * 子どもの興味・関心を生かし、子どもの主体的な学びを促す総合的な学習や選択教科を積極的に拡大し、充実する
- * グループ学習・ペア学習等の学習形態を工夫し、互いに励まし合い、認め合う学習活動を充実する
- * 学習の成果を発表する多様な機会を工夫し、コミュニケーション能力を高めるよう工夫する

2. 自然体験・社会体験等の直接体験を工夫・充実しよう

《具体的実践例》

- * 校外施設を活用した宿泊を伴う学習を充実する
- * 福祉施設等でのボランティア体験学習を積極的に展開する
- * 区内の事業所、公共施設等での職場体験学習を工夫する
- * 文京区に伝わる伝統技術、伝統芸能等を学び、継承し、広く区民に発表する学習を工夫する
- * 地域の人々から学ぶ場や機会、地域の人々と一緒に学ぶ場や機会を工夫する

3. 生き方を探究する学習活動を重視しよう

《具体的実践例》

- * 文京区に愛着をもち、地域に根ざし、生き生きと活動している人々との多様な交流を工夫する学習を積極的に展開する
- * 子どもの力を生かす学校行事等の企画・運営への積極的参画を促す

- * 児童会・生徒会活動、委員会活動、係活動等の自主的・自治的活動を重視するとともに、他校との交流、幼・小・中学校の交流を推進する
- * 保護者や地域の人々から人間としての生き方・在り方について学ぶ場や機会を工夫する

4. 一人一人のよさを認める評価を重視し、個に応じた指導を工夫しよう

《具体的実践例》

- * 複数教員による協力授業の多様な実践を推進し、子どもを多様な視点から評価し、子どもが自分のよさや可能性を発見できるよう支援の在り方を工夫する（チームティーチング、異教科間チームティーチング等）
- * 自己評価や相互評価等を工夫し、互いに相手のよさや違いを認め合い、自分自身の個性・能力、可能性に自信をもつことができるよう工夫する
- * 校外に出て多くの人々と触れ合う機会を工夫し、多様な評価を得られるよう工夫する

《推進項目 1 - 2》 地域に根ざした、地域に開かれた学校をつくろう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の4点である。

1. 家庭や地域が参加・参画しやすい学校行事を多くしよう

《具体的実践例》

- * 参観から参加、さらに参画型の学校行事を増やし、内容・日程ともに保護者や地域の人々が参加しやすくなるよう工夫をする
- * 子どもと保護者、地域の人々が一緒に学び、行動する活動を工夫する
- * 文京区の豊かな文化財等、地域にある教育力を活用し、地域の人材を生かした学習活動を工夫する

2. 学校の教育活動に家庭や地域の声を反映させよう

《具体的実践例》

- * 学校の教育活動に家庭・地域の声を反映させ、学習活動、学校行事等に保護者・地域の人々の参加・参画を積極的に求める
- * 学校運営等について、保護者や地域の人々に意見を求め、反映させる

3. 子どもの姿、学校の様子を積極的に広報しよう

《具体的実践例》

- * 子どもを地域の重要な人材ととらえ、地域に出る活動を工夫し、地域の人々と交歓する場や機会を充実する
- * 家庭、地域と連携し、地域行事と連動した学校行事を工夫する
- * 学校だより等を家庭・地域に配布するなどの広報活動を積極的に行い、子どもの様子・学校の様子を機会をとらえて知らせるよう工夫する
- * インターネットのホームページ、掲示板等により、誰もがいつでも学校の情報に触れることができるよう工夫する

4. 学校の教育機能を積極的に地域に開放しよう

《具体的実践例》

- * 学校を、地域の共有財産であるとの観点から見直し、地域の要望を把握し、学校の施設、教育力を積極的に開放・提供し、地域の人々と学校とのかかわりを充実する
- * 学校図書館・音楽室等の教育の場の開放に努めるとともに、教職員の教育力を提供し、地域と学校とのかかわりの場や機会を増やすよう工夫する

《推進項目 1 - 3》 「心の教育」を推進しよう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の4点である。

1. 集団・社会の一員としての自覚をもち、貢献することの意義を理解する活動を工夫しよう

《具体的実践例》

- * 児童会・生徒会活動、委員会活動、係活動等の自主的・自治的活動を積極的に推進する
- * 人間関係を豊かにする能力、資質を高めるために、異年齢集団活動、グループ活動等を工夫する
- * ボランティア活動や地域清掃活動、地域行事への参画等、地域に積極的に関わる活動を通して、権利だけでなく、義務や自己責任について学ぶ場や機会を工夫する

* 文京区の歴史・文化・伝統を学び、その成果をインターネット等を利用して広く区民に発表する学習等を工夫し、地域に愛着をもち、地域を大切に作る心情を醸成する

2. 人間の尊厳、人権について深く理解させ、男女共同参画社会の実現を推進する資質・能力を高めよう

《具体的実践例》

* 子どもの心を揺さぶり、耕す教材の開発を積極的に行い、道德教育の一層の充実を図る

* ボランティア活動等の多様な体験活動を充実し、奉仕の精神、互いに支え合って生きることの意味・意義を体得できるように工夫する

* 文京区の発展に貢献した人々等を扱った地域教材の開発等に努め、人権や人間の尊厳に関する教育の一層の充実を図る

* 学校の全教育活動を通じて、男女が互いに認め合い、豊かな社会を共同して築く男女共同参画社会の実現に必要な資質・能力を高める多様な学習活動を充実・工夫する

3. 子どもが自ら心の窓を開き、自分のよさに気づき、それを生かし、よりよく生きるための基本となる道徳性を育もう

《具体的実践例》

* 多様な子どもを受け止め、生かす受容的・共感的な指導に努める

* 自分のよさを発揮する場と機会を一層工夫する

* 盲学校や高齢者福祉施設との交流等、高齢者や障害のある人々との触れ合いをとおして、人間としての生き方・在り方について学ぶ場や機会を工夫する

4. 多様な体験的学習を通して、共感的な人間関係を築く工夫をしよう

《具体的実践例》

* 地域の人々から様々なことについて学ぶ活動、地域の人々と一緒に学んだり活動したりする活動を充実・工夫する

* 文京区の立地条件、学校を取り巻く様々な環境を生かして、子どもたちがそれぞれのよさを生かし合って取り組む多様な体験活動を充実する

《推進項目 1 - 4》

社会の変化に主体的に対応できる能力を培う学校をつくろう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の4点である。

1. 文京区の特徴を生かした国際理解教育の充実を図ろう

《具体的実践例》

- * 外国人との交流活動、インターネット等を活用しての相互交流等、国際理解教育を一層推進する
- * 小学校における外国語に親しむ学習活動を工夫する
- * 論理的な思考力・表現力を育むディベート等を通し、国際社会に生きるために必要なコミュニケーション能力の育成の場を工夫する

2. 情報活用能力を培う多様な情報教育を推進しよう

《具体的実践例》

- * コンピュータ等の情報機器を活用する能力を高めるよう工夫する
- * 情報機器の活用、図書館の活用等、情報活用能力を育成する場や機会を工夫する
- * 情報通信ネットワーク等を活用し、自ら発信する学習活動を工夫する
- * 調べ学習等の問題解決的な学習活動の充実を図り、その成果を発表する場や機会を多くする

3. 行動的実践力を培う環境教育の充実を図ろう

《具体的実践例》

- * 文京区の環境問題を自ら調べ、改善の方策を自ら考え、家庭・地域において実践する多様な環境教育を積極的に推進する
- * 校外施設等の宿泊行事を充実させ、自然やそこに生きる人々に触れる場や機会を工夫する
- * 環境問題に主体的に取り組む総合的・横断的な学習を工夫・充実する

4. ボランティア活動等、地域に根ざした福祉教育の充実を図ろう

《具体的実践例》

- * 高齢者、障害のある人々と一緒に学んだり、活動したりする交流を積極的に行い、日常的に奉仕活動の意味・意義を学び、考える場や機会を工夫・充実する
- * 保育園児・幼稚園児と小・中・高校生との交流活動を工夫し、人を思いやる心を育むよう工夫する

- * 地域に積極的にかけることを通じて、少子高齢社会の実態を把握し、子どもの発達段階に応じた地域の一員として地域に貢献する活動の場や機会を工夫する

〔 学校づくりを支える環境の整備 〕

青少年の「生きる力」を育み、生涯学習に寄与する学校づくりを進め、先に示した教育内容、教育活動を展開するためには、次に示すような環境の整備を進める必要がある。

- 1 学校に「学校運営連絡協議会」を設置する
家庭や地域の声を学校運営に反映して、開かれた学校運営、特色ある学校づくりを進める。
- 2 文京区の教育情報ネットワークを構築する
学校の教育活動や地域行事の紹介、教育行政情報の提供など、学校・家庭・地域・行政を結ぶ教育広報紙を発行する
インターネット上に総合的な教育のホームページを作成するとともに、学校や公立図書館等をつなぐ教育情報ネットワークの構築を図る
- 3 外部講師制度等を充実する
国際理解教育をはじめとした外部講師やスポーツ指導員の派遣制度の充実を図り、学校の指導体制を強化する
- 4 地域ボランティアの活用を推進する
様々な経験・技能をもつ地域の人々が学校へのボランティア登録を行い、多様な人材活用を図り、特色ある教育活動を推進する
- 5 学校の自主性・主体性が発揮できる体制の整備を図る
学校の特色や工夫を生かした教育課程の編成や実施を進めるため、予算執行等に学校の自主性・主体性が発揮できるよう配慮する

- 6 教員の研修を充実する
教員のライフステージに応じた研修体系の整備・充実を図るとともに、
教員個々が教育課題に適切に対応できるよう課題別研修を充実し、教員
の資質・能力の向上を図る

- 7 ティームティーチング教員の配置・活用を進める
子どもを多面的に評価し、よさや可能性を伸ばすために、ティームテ
ィーチングのための教員の配置を推進し、指導方法の改善を推進する

- 8 学校の施設・設備を充実する
安全性、機能性、快適性等を考慮し、施設・設備の充実を計画的に進
める。また、余裕教室等の活用を図り、ランチルーム、多目的室、国際
理解教室など学校の特色を生かした活用を進める

- 9 スクールカウンセラー制度を充実する
スクールカウンセラーの学校派遣日数、駐在時間を拡大し、相談機能
の充実に努めるとともに、児童・生徒・保護者の利用を促進する

- 10 地域の事業所等と学校との連携を推進する
事業所・商店等は、児童・生徒の社会体験・職業体験の場として、学
校と連携を図り、積極的な受け入れを進める
また、事業所・商店等は学校からの講師派遣要請に協力して、人材の
提供を進める

- 11 学校を生涯学習の場として充実させる
学校の人材や施設・設備の諸機能がP T A・地域等に積極的に提供さ
れ、生涯学習の場となるよう、必要な整備を行い、活用の促進を図る

【重点目標 2】

青少年の健全な成長に欠くことのできない家庭の教育力の向上

教育ビジョンが家庭教育に求めているものは、子どもが家族の一員であるとの意識をもち、家族との豊かで多様なかかわりの中で、自分のよさや可能性を信じ、さらに伸ばそうとする意欲を高めることである。また、そうした心の根幹を支える人間に対する基本的な信頼感を育み、学校や地域に積極的にかかわり、豊かな人間関係を築いていこうとする意欲・態度を培うよう、家族みんなが子どもを一人の人間として尊重し、見守ることである。

また、中央教育審議会の答申「新しい時代を拓く心^{ひら}を育てるために」では、幼児期からの心の教育の重要性を示し、心の教育を推進するための方策として、家庭の役割を見直すことを求めている。

その主な内容は、家庭の在り方を問い直そう、悪いことは悪いとしっかりしつけよう、思いやりのある子どもを育てよう、子どもの個性を大切にし、未来への夢をもたせよう、家庭で守るべきルールをつくろう、遊びの重要性を再認識しよう、異年齢集団で切磋琢磨する機会に積極的に参加させよう、などである。

このように、青少年の健全な成長に欠くことのできない家庭の教育力の向上は大きな教育課題であり、次代を担う子どもを育てる大人の責務でもある。

家庭の役割を見直し、その教育力の向上を図るためには、次のような家庭づくりを目指すとともに、それを支える環境の整備を進める必要がある。

《推進項目 2 - 1》 互いに尊重し合い、家族の絆^{きずな}を深める家庭を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 家族共通の豊かな体験を重視し、スキンシップを大切にしよう

《具体的実践例》

- * 食事を一緒にとるなど、一家団樂^{いっかだんらん}を大切にしよう互いに努力する
- * 様々な自然体験・社会体験を家族一緒に体験し、感動を共有する
- * 子どもを一人の人間として尊重し、一人一人のよさ、可能性を認め、励ます

- * 子育ては、家族みんなで行うものであることを各自が自覚し、積極的にかかわる
 - * 公立図書館を活用して、親子で読書に親しむ
 - * 公共の学習施設等を積極的に活用し、親子共に学ぶことの喜びを味わうよう、励まし合う
2. 子どもを家族の一員として尊重するとともに、役割を分担し、責任をもってやり遂げる強い意思を育てよう
- 《具体的実践例》
- * 家族のルールを決め、仕事を分担するとともに、最後までやり遂げられるよう励ます
 - * 栽培・飼育等、子どもが責任をもって最後まで成し遂げる体験を大切にす
3. 地域・学校との関わりの中で、子どもの発達段階に応じて、権利と義務・自己責任について教えよう
- 《具体的実践例》
- * ボランティア活動等地域に貢献する多様な体験活動を親子で一緒に行う
 - * 体験活動を通して、人間としての生き方・在り方について親子で話し合う場や機会を大切にする
 - * 学校行事・地域の行事に親子で積極的に参加・参画する

《推進項目 2 - 2》 家族揃って、学校や地域の活動に参加・参画しよう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 子どもが通う学校に関心を持ち、学校行事等に積極的に参加・参画しよう
- 《具体的実践例》
- * 地域行事、地域活動に親子で一緒に参加・参画する
 - * ボランティア活動等を通して、少子高齢化、環境問題等の地域の課題について、親子で話し合い、解決策を一緒に考えるなど、地域に積極的にかかわる姿勢を育てる
2. 自分たちが住む地域に関心を持ち、地域の問題を親子で一緒に考える場や機会を大切にしよう

《具体的実践例》

* 子どもが通う学校に関心を持ち、学校行事・PTA活動に積極的に参加・参画する

* 学校運営についても関心を持ち、様々な機会を生かして意見・感想をフィードバックする

3. 子どもが家庭以外の友達や地域の人々とかかわる機会を大切にしよう

《具体的実践例》

* 子どもが地域に関心を持ち、様々な地域の人々とかかわるなど多様な交流活動を奨励する

* 親自身も地域に関心を持ち、地域の人々との交流を大切にし、地域に積極的にかかわるよう努める

《推進項目 2 - 3》 豊かな心を育む家庭を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 子どもを一個の人格として認め、個性を大切にし、未来への夢を育もう

《具体的実践例》

* 人間としての生き方・在り方について語りかけ、子どもの将来の夢や希望を聞き、実現に向けて励ます

* 子どもを多面的に見つめ、子供のよさを認め、ほめるとともに、子どもが自分のもつ可能性に自信がもてるよう励ます

* 子どもに自らの生き方を示すとともに、家庭のルール、人間として守らなければならないことはきちんと教え、親の考え方や要望を実体験に基づいて、具体的に話すよう努める

2. 家族と一緒に働き、勤労の尊さ・喜びを共有するとともに、人を思いやる心を育てる機会を大切にしよう

《具体的実践例》

* 栽培・飼育、地域活動等に親子一緒に参加し、活動することの喜び、成就感等を共有する

* 親の働く姿を見せたり、身近で働く人々の姿を親子で見たりして、働くことの意味・意義を伝える

* 家族一緒にボランティア活動等に参加・参画し、互いに支え合って生きることや奉仕の精神の大切さを知る

3. 異年齢集団で切磋琢磨する機会に積極的に参加させ、人を思いやる心や苦悩・葛藤を乗り越えるたくましい心を育てよう

《具体的実践例》

* 地域の行事等への積極的な参加を通して、地域の人々と豊かな交流が体験できるよう勧める

* 身近な地域のボランティア・スポーツ・文化活動、青少年団体の活動等に積極的に参加・参画するよう勧め、協力して成し遂げる喜びを味わい、人を思いやる心や苦しさや障害を乗り越えるたくましい心を育てる

《推進項目 2 - 4》 「生きる力」を育む家庭を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 家族全員が社会の一員としての自覚をもち責任を果たす姿を互いに認め合おう

《具体的実践例》

* 親自身が自分の成長のために努力している姿を子どもに見せ、社会の一員としての自覚と責任を促す

* テレビや新聞等を一緒に見て、親子で様々な社会問題について話し合い、人間としての生き方・在り方について考える場や機会を大切にする

2. 男女共同参画社会を実現するため、男女が互いに認め合い、協力して家庭を築くことの意義を伝えよう

《具体的実践例》

* 家事は家族全員が分担し、支え合う体験を通して性別による役割分担意識の払拭に努める

* 自分のことは自分ですするという基本原則を、家庭生活全般を通して身に付けるようにする

3. 環境問題等の人類の将来にもかかわる深刻な社会的課題に家族全員で積極的にかかわろう

《具体的実践例》

- * 環境問題について家族で話し合い、家族全員で問題に取り組む
- * 少子高齢化問題等、文京区が抱える社会問題について家族で話し合い、家族として地域の問題に積極的にかかわる姿勢をもつ

〔家庭の教育力の向上を図る環境の整備〕

青少年の健全な成長のために欠くことのできない家庭の教育力を向上させ、先に示した教育内容、教育活動を展開するためには、次に示すような環境の整備を進める必要がある。

1 子育て支援体制の整備・充実を進める

子育てや子どもの教育についての相談体制と情報提供の整備・充実を進め、育児中の保護者のコミュニティづくりを支援する

- ・保健所・保育園・幼稚園・子育て広場・教育センター等がそれぞれの機能を発揮し、乳幼児の子育て相談をより利用しやすい体制に整える
- ・延長保育、0歳児保育の拡大、幼稚園での3歳児保育の拡大、預かり保育の実施等を進め、保育園・幼稚園における子育て支援体制の充実を図る

P T A や保護者がスクールカウンセラーを活用することができる体制を充実する

2 家庭教育への支援体制を充実する

家庭教育講演会、親子体操教室など家庭教育支援事業の充実を図る内容の見直しや弾力的な運営方法の導入を進め、家庭教育学級の充実を図る

3 子育て世代の男女が安心して子育てにかかわれる体制づくりを進める
企業にも働きかけ、子育て世代の男女が安心して子育てにかかわれる
気運を醸成し、支援体制を整える。また、一部のP T A等で実施されて

いる「親父（おやじ）の会」の活動を参考にし、PTA活動に男性の参加を促進する手立てを工夫する

4 余暇の有意義な過ごし方に関する啓発を図る

学校週5日制の完全実施を踏まえ、その趣旨を理解し、家族の団樂・交流を図ったり、地域との関わりを深めたりするなど、余暇を有意義に過ごせるよう工夫する



【重点目標3】

青少年の健全な成長を促し、自己実現を図る地域の教育力の向上

教育ビジョンが地域に求めているものは、子どもが地域の一員としての自覚をもち、地域の人々との多様なかかわりを通して、自分のよさや可能性に気づき、地域への愛着を深め、社会に貢献しようとする意欲・態度を培うことである。

また、中央教育審議会答申「新しい時代を^{ひろ}拓く心を育てるために」では、幼児期からの心の教育の重要性を示し、心の教育を推進するための方策として、地域の教育力を生かすことを提言している。

その主な内容は、地域で子育てを支援しよう、異年齢集団の中で子どもたちに豊かで多彩な体験の機会を与えよう（長期の自然体験活動の振興、ボランティア・スポーツ・文化活動、青少年団体の活動等の活性化、地域の行事や様々な職業に関する体験の機会の拡大等）、子どもの心に影響を与える有害情報の問題に取り組もう、などである。

このように、青少年の健全な成長を促し、自己実現を図る場や機会を提供する地域の教育力の向上を図ることは、大きな教育課題である。

地域の役割を見直し、その教育力の向上を図るためには、次のような地域づくりを目指すとともに、それを支える環境の整備を進める必要がある。

《推進項目3-1》 互いに支え合い、連帯感を育む地域を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 地域において豊かな人間関係を築けるよう、世代を越えての交流活動を促進しよう

《具体的実践例》

* 地域における子どもの居場所で、大人も含め、多様な交流活動が展開されるよう工夫する

* 子どもの夢や希望に耳を傾け、その実現に向け地域の人々が力を貸し、励ます

2. 子どもと大人と一緒に活動する体験的な活動を促進しよう

《具体的実践例》

- * 子どもの地域における役割を明確にし、発達段階に応じて企画・運営に積極的に参加・参画することを促す
- * 子どもを地域の重要な人材ととらえる視点から、地域活性化のために、子どもの考えや力を生かし、その実現のために地域の人々が力を合わせる
- * ボランティア活動、地域清掃等に子どもを積極的に誘い、大人と一緒に活動することを促す

3. 子どもを一個の人格として尊重するとともに、どの子どもにも温かく接し、毅然^{きぜん}としかり、子どもは地域で育てるという気運を高めよう

《具体的実践例》

- * 子どもと大人と一緒に活動する体験的な活動を充実する（ボランティア・スポーツ・文化活動等）
- * 子育て中の人々の交流の機会や場を設定し、子育てを地域ぐるみで支援する
- * 子どもに社会のルールを示し、毅然とした態度で接し、大人の考え方、子どもへの要望を率直に伝えるとともに、子どもの声に素直に耳を傾け、温かく見守る姿勢を示す

《推進項目 3 - 2》

地域の学校・家庭を大切にし、子どもの参加・参画を促す地域を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 子どもも大人も気軽に集い、参加・参画できる多様な活動を地域で展開しよう

《具体的実践例》

- * 学校を地域の重要な拠点と考え、そこに学ぶ子どもを地域の貴重な人材として、学校と協力して育てるという意識を醸成する
- * 地域活動・行事における子どもの役割を与え、参加・参画を促す

2. 子どもから学ぶ姿勢をもち、地域活動への子どもの積極的な参加を促進しよう

《具体的実践例》

- * 子どもを生涯学習社会の担い手としてとらえ、学習活動が広がるような多様な体験を工夫する
- * 主体的な活動を促すためのリーダーを育てる
- * 地域によさを生かし、継続性のある、だれもが気軽に参加・参画できる多様な地域行事を工夫する

3. 学校行事と連携した地域活動を工夫しよう

《具体的実践例》

- * 学校・家庭と地域を結ぶ活動をとおして人間的な絆を強め、地域への関心を高める
- * 学校との連携を深め、地域と学校がそれぞれのよさを生かして、子どもにとって魅力ある活動を工夫する
- * 地域の伝統・文化を大切にし、季節感あふれる年中行事等を通して、地域のよさを知る豊かな体験の場や機会を提供する

《推進項目 3 - 3》 郷土を愛し、大切に作る心を育てる地域を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 地域の伝統・文化を大切にし、子どもと一緒に継承し保存する活動を継続しよう

《具体的実践例》

- * 地域に伝わる伝統・文化を大切にし、その継承に子どもの力を生かす
- * 子どもと大人とを結ぶリーダーを双方に育て、一緒に地域について考え、活動を立案し、行動する

2. 世代を越えて地域の人々と交流する機会や場を工夫し、郷土を愛する心を育てよう

《具体的実践例》

- * 公共施設等を活用して、世代を越えて心の交流を図る場や機会を工夫する
- * 地域の子どもは地域で育てるという気運を醸成し、生活のルールについては毅然とした態度で接するとともに、子どもの心情や夢や希望に耳を傾け、温かく見守る

3. 大人自ら地域活動に積極的に参加・参画する姿を示し、子どもと一緒に誘おう

《具体的実践例》

- * 大人自身が地域の一員としての自覚をもち、地域に貢献する姿を見せ、子どもと一緒に活動する
- * 多様な自然体験・社会体験に子どもが積極的にかかわることができるよう家庭に働きかける

《推進項目 3 - 4》 「生きる力」を育む地域を築こう

この推進項目を実現するために求められる教育内容は、次の3点である。

1. 高齢者や障害のある人等、様々な人々と一緒に活動する機会や場を工夫しよう

《具体的実践例》

- * 地域に住む様々な人々との豊かな交流が行われるよう活動を工夫する
- * ボランティア活動などの奉仕活動に子どもの積極的な参加を促す

2. 地域の課題の解決に子どもの知恵や力を生かせるよう参加・参画を促そう

《具体的実践例》

- * 地域についての話し合いに子どもの積極的な参加・参画を促す
- * 地域社会の様々な問題の解決に子どもの力を生かす発想をもつ
- * 身近な環境問題に地域ぐるみで取り組む
- * ボランティア活動等の地域の活動に子どもが積極的に参加できるように家庭に働きかける
- * 若い父親や母親が参加・参画できる交流の場を積極的に工夫する

3. 自然体験・遊びの効用を再認識し、地域での子どもの活動の場や機会を工夫しよう

《具体的実践例》

- * 地域の特性を生かした自然体験活動を工夫し、子どもの参加・参画を促す
- * 子どもが伸び伸びと心を解放し、思う存分遊べるような場や機会を工夫する

〔地域の教育力の向上を図る環境の整備〕

青少年の健全な成長を促し、自己実現を図る地域の教育力を向上させ、先に示した教育内容、教育活動を展開するためには、次に示すような環境の整備を進める必要がある。

- 1 子どもが地域の一員であることを実感できる場や機会の拡大を図る
子どもの手による企画・運営参加を含め、地域行事の工夫・充実を図る。
「中学生サミット」など、子どもの豊かな感受性、創造性を発揮して、様々なことについて考え、意見を述べる場や機会を設ける。
- 2 子どもの居場所の充実を図る
学校や児童福祉施設等の開放を一層進め、子どもから高齢者まで世代を越えて気軽に参加できたり、子どもが遊んだり、体験を通して学んだりする場と機会の拡大を図る。特に、中・高校生が気軽に利用できる居場所づくりを進める。
- 3 樹木、草花、湧き水など自然に親しむ環境を保護・育成する
子どもたちが多くのことを学び、自然に親しめるよう樹木や草花を育てたり、湧き水などの保護・育成を推進する。
- 4 社会教育団体の育成を図る
地域の子どもたちが興味・関心に応じて進んで参加できるように、地域に文化系、運動系それぞれに多様な社会教育団体の育成を推進する。
- 5 地域指導者の養成を推進する
地域に、地域の大人みんなで子どもを育てるという気運を醸成する。
指導者養成のための講習会を充実する。
- 6 子どもに優しいコミュニティーづくりを推進する
子どもが安心して街中で活動できるよう、家庭や事業所・商店への「子ども110番」ステッカーの貼付を促進する。

公園や児童遊園等、子どもが安心して利用できるよう地域の力で清潔さや安全性を保つよう努める。

子どもが安心して街中を歩けるよう、交通安全に配慮するとともに、アイドリングストップ等、環境に優しい社会づくりを進める。

7 子どもたちの成長をみんなで見守る体制づくりを推進する

青少年委員、民生・児童委員、主任児童委員、青少年対策地区委員会をはじめ、子育てや教育にかかわる関係諸機関の連携を深める。

主任児童委員等の青少年の健全育成に携わる人々と協力して、地域のみんなで子どもを虐待から守る行動を推進する。



おわりに

この推進プランは、多くの区民の参画により策定されたものである。専門部会の委員の半数が区民であるとともに、審議を公開し、傍聴者には意見を記入するアンケート用紙を毎回配布した。また、区報に中間まとめとしての「論点の整理」の概要を掲載し、意見を求める一方、2回にわたって「意見を聞く会」を開催し、広く区民の声を反映させるよう努めた。

この推進プランで提案した内容の実現のために、学校・家庭・地域が緊密に連携し、共に力を合わせて取り組むことで、次代を担う子どもたちは、社会の変化に主体的に対応する能力を身に付け、未来に向かって夢や希望を抱き、個性を発揮することがより一層可能となる。さらに、文京区民一人一人が輝き、豊かな人間関係に支えられて充実した人生を送ることで、文京のまちが一層活性化することにつながるものと考えます。

また、推進プランの実現のためには、学校・家庭・地域の教育を支える環境の整備も欠かすことのできない重要な要件である。この環境の整備については、学校・家庭・地域だけでなく、行政を担う文京区教育委員会並びに文京区が本報告書の趣旨を十分理解し、その実現のために努力することを強く要望するものである。

今後、学校教育関係者、家庭や地域を形成するすべての方々が、本報告書の趣旨を十分理解し、21世紀を展望したこれからの教育の在り方について論議を深め、教育ビジョンの具現化をめざして互いに力を合わせて実践を積み重ねることを期待する。